

科目名	情報処理演習 I					担当者名	小林 健 雄
	[卒業必修]						
ナンバリング	25E11A10	授業の種類	演 習	単位数	1	開講時期	1年・前期
授 業 内 容	Wordの基本機能を理解し、文章の入力や図・表の挿入、段組、差し込み印刷等ができるように日本語文書の作成の仕方を習得する。						
到 達 目 標	Wordの基本機能を理解し、図・表の挿入、段組、差し込み印刷等の簡易な日本語文書を作成できること。指示された実習課題を作成できること。						
授 業 計 画	回	タイトル	内 容				
	1	はじめに	情報システムの使い方、タッチタイピング練習、セキュリティについて				
	2	Windows10	Windows10、Word入門				
	3	日本語の入力	入力方式の設定、ひらがな・カタカナ・漢字変換				
	4	文章の入力	文節変換、入力の訂正、特殊な入力				
	5	文書の作成 1	書式設定、文章の入力、保存、読み込み、印刷				
	6	文書の作成 2	文字の複写・削除・移動、文章の複写・削除・移動				
	7	編集機能 1	右揃え、中央揃え、箇条書き入力、フォントの変更、太字、斜体				
	8	編集機能 2	均等割り付け、文字の網掛け、下線				
	9	表・メールの設定	表の作成、行・列の挿入削除、メールの設定・使い方				
	10	画像	画像の貼り付け、サイズ変更・移動				
	11	テキストボックス	テキストボックスの挿入、編集				
	12	ワードアート	ワードアートの挿入、編集				
	13	Wordの活用1	スクリーンショット、段組、ドロップキャップ				
	14	Wordの活用2	差し込み印刷				
15	まとめ	まとめ					
成績評価方法と基準	評価方法		評 価 基 準				割合
	授業参加態度		授業への参加意欲・取り組み姿勢があること				10%
	授業中課題		課題の到達度				30%
	実技試験		問題の正答率				60%
教科書 参考図書	30時間でマスター Word2019 実教出版						
準備学習	あらかじめ教科書に目を通し、予習をしておくこと						
課題等に対するフィードバック方法	授業中課題の質問に答え、授業時間内に理解できなかったことは、メールにて質問を受け、応答する						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～4時間						
その他 留意事項							
実務経験と資格等							

科目名	情報処理演習Ⅱ					担当者名	小林健雄
	[卒業必修]						
ナンバリング	25E11B02	授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	1年・後期
授業内容	<p>次のようなExcel（表計算ソフト）の基本的な機能の理解と操作方法を習得する。</p> <p>①セルへのデータの入力、文章の入力、編集の仕方を習得する。</p> <p>②相対参照と絶対参照を理解し、Excelを使って表計算の仕方を習得する。</p> <p>③グラフの挿入、編集の仕方を習得する。</p> <p>④主要な関数を理解し、使えるようにする。</p>						
到達目標	<p>数式を入力して値を求めることができること。</p> <p>相対参照と絶対参照を理解すること。グラフを作成できること。</p> <p>合計、平均、最大・最小を求める。IF関数等主要な関数を理解し、使えること。</p>						
授業計画	回	タイトル	内 容				
	1	はじめに	Excel基本、WordとExcelの違い				
	2	データの入力	セルにデータや文章を入力する、編集する				
	3	Excel入門	合計の計算、ファイルの保存と呼び出し、印刷、グラフの作成				
	4	ワークシートの活用1	行・列の削除・挿入・移動、列幅・行の高さの変更、平均の計算				
	5	相対参照	計算式の複写とセル番地の相対参照、表示形式の変更				
	6	罫線	罫線、便利なデータ入力の方法、オートカルク、セルのスタイル				
	7	絶対参照	セル番地の絶対参照				
	8	ワークシートの活用1	表示形式の変更2、文字属性の変更				
	9	最大・最小	MAX関数、MIN関数				
	10	データのカウンタ	COUNT関数、COUNTA関数				
	11	四捨五入	データの四捨五入、切り上げ、切り捨て				
	12	条件の判定	IF関数				
	13	グラフ	棒、積み上げ、折れ線、円グラフの作成、ラベルの編集				
	14	いろいろなグラフ	複合グラフ				
15	まとめ	まとめ					
成績評価方法と基準	評価方法		評価基準			割合	
	授業参加態度		授業への参加意欲・取り組み姿勢があること			10%	
	授業中課題		課題の到達度			30%	
	実技試験		問題の正答率			60%	
教科書 参考図書	30時間でマスター Excel2019 実教出版						
準備学習	あらかじめ教科書に目を通し、予習をしておくこと						
課題等に対するフィードバック方法	授業中課題の質問に答え、授業時間内に理解できなかったことは、メールにて質問を受け、応答する						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～4時間						
その他 留意事項							
実務経験と資格等							

科目名	日本語表現Ⅰ（文章）					担当者名	八木 雄一郎
	選択						
ナンバリング	25E11A05	授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	1年・①
授業内容	良い文章を書くための基本的な技術やルールを学ぶとともに、文章を書く際の着想力や発想力、文章の構成に要求される表現技術を身に付ける。レポート、論文の書き方等の文章作法を習得する。						
到達目標	日本語による文章作成に関する基本的な能力が身に付いている。						
授 業 計 画	回	内 容					
	1	日本語表現についての概論					
	2	知的活動でも職業生活や社会生活でも必要となる基本的な日本語の運用					
	3	文章を書くための基本的な技術やルール					
	4	文章を書く際の着想力や発想力					
	5	文章の構成に要求される表現技術					
	6	新聞記事などの朗読を通して学ぶ効果的な朗読法					
	7	目的に合わせた文章表現					
	8	授業のまとめ					
成績評価方法と基準	評価方法	評 価 基 準				割合	
	課題への対応	授業課題への取り組み				40%	
	授業時の活動	活動への参加態度				30%	
	最終レポート	課題の趣旨を理解し、自身の考えを文章として適切にまとめられているか。				30%	
						%	
教科書	特になし						
参考図書	授業中に指示する。						
準備学習	授業後に課題を出すことがあるので、次時までに取り組んでくること(提出方法などは授業中に指示する)。						
課題等に対するフィードバック方法	提出された作文等については資料化し、受講者全体で共有できるようにする(授業時の教材とする)。						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～2時間を推奨する						
その他 留意事項							
実務経験と資格等	信州大学教育学部准教授(国語科教育学関連の講義・演習を担当)、長野看護専門学校非常勤講師(「論理学」担当)						

科目名	日本語表現Ⅱ（口頭）					担当者名	八木 雄一郎
	選択						
ナンバリング	25E11B04	授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	1年・②
授業内容	発声や発音の訓練、的確な意見の述べ方や議論の進め方、論理的思考、客観的思考、説得力や自己表現力を高めるための技法などを学習し、初年次教育科目として日本語による発表や討論のための実践的なスピーチ、プレゼン等の能力を高めていく。						
到達目標	論理的思考や客観的思考に基づいた実践的なスピーチができる。						
授業計画	回	内 容					
	1	日本語表現Ⅱの概論					
	2	聞きやすい発声や発音の訓練					
	3	論理的思考・客観的思考に基づいた的確な意見の述べ方について					
	4	論理的思考・客観的思考に基づいた議論の進め方について					
	5	説得力や自己表現力を高めるための技法について①					
	6	説得力や自己表現力を高めるための技法について②					
	7	演習					
	8	授業のまとめ					
成績評価方法と基準	評価方法	評価基準				割合	
	課題への対応	授業課題への取り組み				40%	
	授業時の活動	活動への参加態度				30%	
	最終レポート	課題の趣旨を理解し、自身の考えを文章として適切にまとめられているか。				30%	
						%	
教科書	特になし						
参考図書	授業中に指示する。						
準備学習	授業後に課題を出すことがあるので、次時までに取り組んでくること(提出方法などは授業中に指示する)。						
課題等に対するフィードバック方法	提出された作文やレポート等については資料化し、受講者全体で共有できるようにする(授業時の教材とする)。						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～2時間を推奨する						
その他 留意事項							
実務経験と資格等	信州大学教育学部准教授(国語科教育学関連の講義・演習を担当)、長野看護専門学校非常勤講師(「論理学」担当)						

科目名	英語表現 I (基礎)					担当者名	中田麗子
	幼2種 (必修)						
ナンバリング	25E11A05	授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	1年・①
授業内容	高等学校までの既習の教科目の学習内容を踏まえたうえで、日常的な場面（特に保育に関連した場面）において頻出する英語の表現、実際の場面を想定した英語によるコミュニケーションについて学習する。						
到達目標	日常的な場面（特に保育に関連した場面）において頻出する英語表現や実際の場面を想定した英語によるコミュニケーションができる。						
授業計画	回	内 容					
	1	英語表現 I (基礎) の概論					
	2	高等学校までの既習の学習の復習					
	3	日常的な場面における英語の表現①					
	4	日常的な場面における英語の表現②					
	5	日常的な場面における英語の表現③自己紹介					
	6	日常的な場面における英語の表現④道路案内					
	7	日常的な場面における英語の表現⑤コミュニケーション					
	8	授業のまとめ					
成績評価方法と基準	評価方法	評価基準				割合	
	授業態度	授業ごとのリアクションペーパーを提出できたか				40%	
	課題レポート	課題の主旨を理解し、適切にまとめて提出できたか				60%	
						%	
教科書	—土屋麻衣子著『Happy English for Childcare 保育のための基礎英語』（金星堂）						
参考図書							
準備学習	あらかじめ教科書に目を通し、予習しておく。授業で出された課題をしておく。						
課題等に対するフィードバック方法	リアクションペーパーは、次の授業の際に講評を行う。課題レポートは、添削してフィードバックを行う。						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～2時間を推奨する						
その他 留意事項							
実務経験と資格等	保育士、英検1級、国際学会や会議における英語での口頭発表・議論、英語論文の執筆。						

科目名	英語表現Ⅱ（応用）					担当者名	中田麗子
	幼2種（必修）						
ナンバリング	25E11B06	授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	1年・②
授業内容	既習の「英語表現Ⅰ（基礎）」の学習内容を踏まえたうえで、様々な会話（特に保育関連）に使える、覚えておくことと便利な英語の表現について学ぶとともに、自分の意見を相手に伝えることのできる英語による応用的なコミュニケーションについて学習する。						
到達目標	覚えておくことと便利な英語の表現や自分の意見を相手に伝えることのできる英語による応用的なコミュニケーションが（特に保育に関連して）できる。						
授 業 計 画	回	内 容					
	1	「英語表現Ⅱ」の概要					
	2	「英語表現Ⅰ」の復習					
	3	様々な場面において覚えておくことと便利な英語①					
	4	様々な場面において覚えておくことと便利な英語②					
	5	自分の意見を相手に伝える場面でのコミュニケーション①					
	6	自分の意見を相手に伝える場面でのコミュニケーション②					
	7	自分の意見を相手に伝える場面でのコミュニケーション③					
	8	授業のまとめ					
成績評価方法と基準	評価方法		評価基準			割合	
	授業態度		授業ごとのリアクションペーパーを提出できたか			40%	
	課題レポート		課題の主旨を理解し、適切にまとめて提出できたか			60%	
						%	
						%	
教科書	一土屋麻衣子著『Happy English for Childcare 保育のための基礎英語』（金星堂）						
参考図書							
準備学習	あらかじめ教科書に目を通し、予習をしておく。授業で出された課題をやっておく。						
課題等に対するフィードバック方法	リアクションペーパーは、次の授業の際に講評を行う。課題レポートは、添削してフィードバックを行う。						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～2時間を推奨する						
その他 留意事項							
実務経験と資格等	保育士、英検1級、国際学会や会議における英語での口頭発表・議論、英語論文の執筆。						

科目名	キャリアデザイン I					担当者名	望月 誠
	選択						
ナンバリング	25E11A07	授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	1年・①
授業内容	職業観を涵養し、職業に関する知識を習得させ、自己の個性を理解した上で、卒業生や外部講師による職業体験談を通じて、勤労観や職業観の醸成を図る。						
到達目標	自分の個性や性格を理解するための自己分析と職業選択の考え方や進め方が分かる。						
授 業 計 画	回	内 容					
	1	キャリアを意識することで成長する力、発展する力を学ぶ					
	2	V P I 検査をもとに将来のライフプランと今できることを確認する					
	3	相談における傾聴の意義・技法について理解する					
	4	疑似体験によってカウンセリングを学ぶ (ロールプレイ)					
	5	就職活動の「流れ」について※今、すべきことは何か?					
	6	エンプロイアビリティについて考える					
	7	「キャリアの心理学」キャリアカウンセリングの観点から					
	8	「Planned Happenstance Theory (計画された偶発性)」					
成績評価方法と基準		評価方法	評価基準			割合	
		平常点	積極的にGW (グループワーク) に参加しているか			15%	
		課題・振り返り	各講義のテーマに対して自分の意見が書けているか			35%	
		試験 (レポート)	レポート課題に対して論理的に表現ができているか			50%	
教科書		資料を配布する。					
参考図書		『キャリアデザイン概論』 (雇用問題研究会) ・ 『産業カウンセリング入門』 (社団法人産業カウンセラー協会)					
準備学習		時事関連のニュース等に目し、自分の注目すべきキーワードについて発言 (主張) ができるようにすること					
課題等に対するフィードバック方法		各講義の最後の「ふりかえりシート」の記入を課す。次回フィードバックとして、講師からのコメントを確認し前回の講義をふりかえりステップとして講義に臨む					
準備学習(予習・復習等)に必要な時間		キャリアをデザインするために、磨杵作針というように1～4時間の予習・復習を伴う					
その他 留意事項		学習とは、「なぜ? 本当?」の気持ちで臨むこと					
実務経験と資格等		長野女子高等学校教頭、Summit Academy Secondary School NAGANO教諭、教育学修士、小学校教諭専修免許状、中学校教諭専修免許状(中学)、高等学校教諭専修免許状(地歴公民)、自治体・高等教育機関との社会活動(嘱託)多数、歴史学・社会科学分野の所属学会等多数、地域社会に関する学会発表・論文・共著等多数。					

科目名	キャリアデザインⅡ					担当者名	望月 誠
	選択						
ナンバリング	25E11D08	授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	2年・③
授業内容	社会が求める人材像についての理解し、ビジネスマナーに関する知識や態度の習得を測り将来への目的意識を明確にし、目標設定や目標達成のための考え方を学習する。						
到達目標	生涯学習の観点から目標設定や目標達成のための考え方について理解できる。						
授業計画	回	内 容					
	1	キャリアの視点から自己概念を理解する					
	2	「キャリア・アンカー」の理論を知る					
	3	自分のコミュニケーション特性を知る					
	4	GATBの考え方と見方について学ぶ（アセスメント）					
	5	VPI職業適性検査について学ぶ（アセスメント）					
	6	日本の給料&職業の理解について学ぶ					
	7	社会人基礎能力を高めるには？					
	8	メンタルヘルスとストレスマネジメント					
成績評価方法と基準		評価方法	評価基準			割合	
		平常点	積極的にGW（グループワーク）に参加しているか			15%	
		課題・振り返り	各講義のテーマに対して自分の意見が書けているか			35%	
		試験（レポート）	レポート課題に対して論理的に表現ができているか			50%	
教科書		資料を配布する。					
参考図書		児美川孝一郎『キャリア教育がわかる』（誠信書房）・大久保幸夫『キャリアデザイン入門Ⅰ・Ⅱ』（日経文庫）					
準備学習		時事関連のニュース等に着目し、自分の注目すべきキーワードについて発言（主張）ができるようにすること					
課題等に対するフィードバック方法		各講義の最後の「ふりかえりシート」の記入を課す。次回フィードバックとして、講師からのコメントを確認し前回の講義をふりかえりステップとして講義に臨む					
準備学習(予習・復習等)に必要な時間		キャリアをデザインするために、磨杵作針というように1～4時間の予習・復習を伴う					
その他 留意事項		学習とは、「なぜ？本当？」の気持ちで臨むこと					
実務経験と資格等		長野女子高等学校教頭、Summit Academy Secondary School NAGANO教諭、教育学修士、小学校教諭専修免許状、中学校教諭専修免許状(中学)、高等学校教諭専修免許状(地歴公民)、自治体・高等教育機関との社会活動(嘱託)多数、歴史学・社会科学分野の所属学会等多数、地域社会に関する学会発表・論文・共著等多数。					

科目名	育児と介護					担当者名	中山 和子
	選択						
ナンバリング	24E11E09	授業の種類	講義	単位数	1	開講時期	2年・②④
授業内容	高齢化社会の進展に伴う核家族化や単身世帯の増加など現代社会が抱える問題点や課題について認識を深めることで、育児や介護のあり方について考察していく。						
到達目標	現代家族の機能や役割と家族制度や家族関係をめぐる諸問題について考えることができる。						
授 業 計 画	回	内 容					
	1	授業の目的と概要について					
	2	育児と介護の現状と課題					
	3	育児と介護に関わる制度や施策の変遷					
	4	介護を必要とする人の理解					
	5	介護のはたらきと基本的な視点					
	6	育児と介護のサービスのあり方と多職種連携について					
	7	医療的ケア児の現状と課題					
	8	育児と介護を支えるコミュニティ					
成績評価方法と基準	評価方法	評価基準				割合	
	授業態度	グループワーク等に積極的に参加している				30%	
	試験（筆記）	問題の正答率				40%	
	レポート	内容及び提出状況				30%	
						%	
教科書	最新福祉養成講座12 発達と老化の理解：中央法規						
参考図書	国民衛生の動向 ・ 現代社会福祉の諸相 著者：大熊信成・嶋田芳男・増田康弘 大学図書出版						
準備学習	自分の身の回りの育児や介護の状況に関心を寄せる						
課題等に対するフィードバック方法							
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～2時間を推奨する						
その他 留意事項	適宜実施するグループワーク等に積極的に参加すること						
実務経験と資格等							

科目名	地域と文化					担当者名	平出 淳史
	選択						
ナンバリング	25E11E10	授業の種類	講義	単位数	1	開講時期	2年・②④
授業内容	日本や地域の伝統的な宗教や行事、生活や伝承、芸道や芸能、芸術や音楽などの学習を通して郷土文化や生活文化の諸相について理解し、国家や象徴、精神などの生活様式の題材を調査・分析を行う。						
到達目標	郷土文化や生活文化の諸相について理解し、伝統継承や文化振興に貢献する意識を持っている。						
授業計画	回	内 容					
	1	善光寺と信濃の信仰					
	2	県民の心を繋ぐ「信濃の国」					
	3	「信濃の国」から読み解く信濃①					
	4	「信濃の国」から読み解く信濃②					
	5	信濃の自然「火山の恩恵」					
	6	信濃の歴史①					
	7	信濃の歴史②					
	8	信濃の歴史③					
成績評価方法と基準	評価方法	評価基準				割合	
	筆記試験	問題の正答率				80%	
	課題・レポート・提出物	問題の趣旨を理解し、適切にまとめられ提出できたか				10%	
	授業参加態度	授業への参加意欲・取り組み姿勢を評価する				10%	
教科書	授業ごとテーマに沿った資料を配付する						
参考図書							
準備学習	必要に応じて事前学習や資料収集を指示する						
課題等に対するフィードバック方法	添削して返却し、返却時には講評・解説を行う						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～2時間						
その他 留意事項							
実務経験と資格等							

科目名	経済と政策					担当者名	望月 誠
	選択						
ナンバリング	25E11E11	授業の種類	講義	単位数	1	開講時期	2年・②④
授業内容	現代経済の基本的な概念と枠組みについて概説したうえで、経済的な見方や捉え方、考え方について学習する。現代社会における経済構造と経済政策との関連性や経済問題の多様性の理解を通して、経済活動や経済現象に対する興味と関心を深めていく。						
到達目標	現代社会における経済構造と経済政策との関連性や経済問題の多様性を理解している。						
授業計画	回	内 容					
	1	経済と政策の相関関係について					
	2	生活の豊かさを表す数字とは					
	3	市場経済における価格設定（ガソリンが価格調整されている）					
	4	薄利多売は誰がよるこぼ？（価格の決定）					
	5	生涯賃金（ファイナンシャルプランの観点から）					
	6	生活に直結する税金					
	7	経済と政策と人口のトライアングル					
	8	格差社会における貧困の現実					
成績評価方法と基準		評価方法	評価基準			割合	
		平常点	積極的にGW（グループワーク）に参加しているか			15%	
		課題・振り返り	各講義のテーマに対して自分の意見が書けているか			35%	
		試験（レポート）	レポート課題に対して論理的に表現ができているか			50%	
教科書	宮本弘暁『私たちの日本経済』（有斐閣 2024年）						
参考図書	『大人のための社会科-未来を語るために-』（有斐閣 2017年）						
準備学習	時事関連のニュース等に着目し、自分の注目すべきキーワードについて発言（主張）ができるようにすること						
課題等に対するフィードバック方法	各講義の最後の「ふりかえりシート」の記入を課す。次回フィードバックとして、講師からのコメントを確認し前回の講義をふりかえりステップとして講義に臨む						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	身近な経済を知るために、磨杵作針というように1～4時間の予習・復習を伴う						
その他 留意事項	学習とは、「なぜ？本当？」の気持ちで臨むこと						
実務経験と資格等	長野女子高等学校教頭、Summit Academy Secondary School NAGANO教諭、教育学修士、小学校教諭専修免許状、中学校教諭専修免許状(中学)、高等学校教諭専修免許状(地歴公民)、自治体・高等教育機関との社会活動(嘱託)多数、歴史学・社会科学分野の所属学会等多数、地域社会に関する学会発表・論文・共著等多数。						

科目名	自然と環境					担当者名	平出 淳史
	選択						
ナンバリング	25E11E12	授業の種類	講義	単位数	1	開講時期	2年・②④
授業内容	大気汚染・水質汚濁・森林破壊・異常現象・自然災害・自然保護等の自然環境や公害問題・騒音問題・廃棄物処理・二酸化炭素削減等の社会環境及び持続可能社会・循環型社会・環境共生都市等の都市環境など、地球規模で生じている環境現象の題材を取り上げ考察し、環境に対する問題意識を高め、環境劣化・環境汚染・環境破壊・環境かく乱などの課題と対策に関する理解を深める。						
到達目標	地球規模で生じている環境現象の題材を取り上げ、その課題と対策を考察することができる。						
授 業 計 画	回	内 容					
	1	私たちを取り巻く環境					
	2	私たちが住む地球					
	3	気象と健康					
	4	地球温暖化					
	5	地球環境問題					
	6	地域環境問題					
	7	室内における環境問題と都市の環境問題					
	8	化学物質と放射性物質による環境汚染					
成績評価方法と基準	評価方法	評価基準				割合	
	筆記試験	問題の正答率				80%	
	課題・レポート・提出物	問題の趣旨を理解し、適切にまとめられ提出できたか				10%	
	授業参加態度	授業への参加意欲・取り組み姿勢を評価する				10%	
教科書	授業ごとテーマに沿った資料を配布する						
参考図書							
準備学習	必要に応じて事前学習や資料収集を指示する						
課題等に対するフィードバック方法	添削して返却し、返却時には講評・解説を行う						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～2時間						
その他 留意事項							
実務経験と資格等							

科目名	健康と運動 I					担当者名	小林 詩子
	幼2種・保育士（必修）						
ナンバリング	25E11D13	授業の種類	講義・演習	単位数	1	開講時期	2年・③
授業内容	社会生活における健康と安全について概説したうえで、健康と安全や運動についての理解と各種の運動の特性に応じた実践を行い、技能や能力を身に付けて行く。						
到達目標	運動の楽しさや喜び及び運動の多様性や体力の必要性を理解し、各種の運動の特性に応じた技能や能力を身に付けることができる。						
授 業 計 画	回	内 容					
	1	授業の目的と概要について、健康の維持・増進と疾病予防について					
	2	ゴール型球技（1）					
	3	ゴール型球技（2）					
	4	ゴール型球技（3）					
	5	ネット型球技（1）					
	6	ネット型球技（2）					
	7	ダンス（1）					
8	ダンス（2）						
成績評価方法と基準	評価方法	評 価 基 準				割合	
	平常点・課題	授業への参加意欲、取り組み姿勢を評価する				40%	
	実技	それぞれの種目の特性を理解し、基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力、判断力				30%	
	定期試験	正答率				30%	
教科書	資料を配布する						
参考図書	必要があれば資料をGoogle classroomに載せる						
準備学習	日頃から運動習慣をつけ、体力の向上をはかり、体調管理をしておく 授業で取りあげたスポーツのルール等を確認しておく						
課題等に対するフィードバック方法	リアクションペーパーを配布して次回フィードバックを行う						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～4時間を推奨する						
その他 留意事項	チャイムの前に用具の準備を協力して済ませておくこと 水分補給をするので、必ずペットボトルか水筒など蓋つきの飲料水を用意してくること 運動にふさわしい服装、髪形で参加すること タイツやサンダルは禁止 筆記用具持参						
実務経験と資格等	長野女子高等学校講師、長野県短期大学講師 信学会長野幼稚園体育教諭 信学会裾花幼稚園体育教諭 中学校教諭一種免許状（保健体育・家庭）高等学校教諭一種免許状（保健体育・家庭）						

科目名	健康と運動Ⅱ				担当者名	小林 詩子	
	幼2種・保育士（必修）						
ナンバリング	25E11D14	授業の種類	講義・演習	単位数	1	開講時期	2年・④
授業内容	適切な運動の経験を通して生涯に通じる健康と健康を支える環境づくりについて理解し、各種の運動の特性に応じた実践を行い、技能や能力を身に付けて行く。						
到達目標	個人の生活・健康状態・年齢及び体力に応じた生涯スポーツの実践や方法について理解する。						
授 業 計 画	回	内 容					
	1	生涯スポーツの目的と意義について					
	2	体づくり運動（1）					
	3	体づくり運動（2）					
	4	体づくり運動（3）					
	5	体づくり運動（4）					
	6	野外の運動（1）					
	7	野外の運動（2）					
	8	野外の運動（3）					
成績評価方法と基準	評価方法	評価基準			割合		
	平常点・課題	授業への参加意欲、取り組み姿勢を評価する			40%		
	実技	それぞれの種目の特性を理解し、基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力、判断力			30%		
	レポート	課題の趣旨を理解し、適切にまとめられているか			30%		
教科書	資料を配布する						
参考図書	必要があれば資料をGoogle classroomに載せる						
準備学習	日頃から運動習慣をつけ、体力の向上をはかり、体調管理をしておく 授業で取りあげたスポーツのルール等を確認しておく						
課題等に対するフィードバック方法	リアクションペーパーを配布して次回フィードバックを行う						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～4時間を推奨する						
その他 留意事項	チャイムの前に用具の準備を協力して済ませておくこと 水分補給をするので、必ずペットボトルか水筒など蓋つきの飲料水を用意してくること 運動にふさわしい服装、髪形で参加すること タイツやサンダルは禁止 筆記用具持参						
実務経験と資格等	長野女子高等学校講師、長野県短期大学講師 信学会長野幼稚園体育教諭 信学会裾花幼稚園体育教諭 中学校教諭一種免許状（保健体育・家庭）高等学校教諭一種免許状（保健体育・家庭）						

科目名	日本国憲法					担当者名	平出 淳史
	幼2種 (必修)						
ナンバリング	25E11C15	授業の種類	講義	単位数	2	開講時期	2年・①
授業内容	日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、天皇の地位と役割、国会、内閣、裁判所などの政治機構について概観した上で、政治と法の意義と機能、基本的人権の保障の意義、権利と義務の関係、議会制民主主義、地方自治などについて学び、民主政治の本質や現代政治の特質について学習する。						
到達目標	民主政治の本質や現代政治の特質について理解する。						
授業計画	回	内 容					
	1	授業の目的と概要について					
	2	憲法とは何かについて					
	3	憲法の私人間効力について					
	4	人権の享有主体について					
	5	法の下での平等について					
	6	信仰の自由について					
	7	学問の自由について					
	8	表現の自由について					
	9	経済的自由権と社会権について					
	10	教育を受ける権利について					
	11	国会と内閣について					
	12	裁判所・違憲審査制について					
	13	地方自治について					
	14	地方自治について					
	15	授業のまとめ					
成績評価方法と基準	評価方法	評価基準				割合	
	筆記試験	問題の正答率				80%	
	課題・レポート・提出物	問題の趣旨を理解し、適切にまとめられ提出できたか				10%	
	授業参加態度	授業への参加意欲・取り組み姿勢を評価する				10%	
教科書	授業ごとテーマに沿った資料を配布する						
参考図書	エッセンシャル法学 (大谷實編著、成文堂)						
準備学習	必要に応じて事前学習や資料収集を指示する						

課題等に対するフィードバック方法	添削して返却し、返却時には講評・解説を行う
準備学習(予習・復習等) に必要な時間	1～2時間
その他 留意事項	
実務経験と資格等	